

JUNTENDO

理事長・学長メッセージ

今、ふたたび

古き歴史と日新の科学を踏まえて

順天堂は、江戸後期の天保9 (1838) 年、今から186 年前に学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に設立したオラ ンダ医学塾 (和田塾) に端を発し、いまに繋がる日本最 古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国 佐倉に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超 える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」 と今に語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そし て臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、 明治新政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率 いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団 長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校 (現東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医 学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝 国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任 した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立 し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を発 展させました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免 除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多 くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口 英世ら) は順天堂で臨床教育を受けました。これら医 学校を母体として、その後日本医科大学、東京医科大 学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していき ます。

佐藤進は、明治2 (1869) 年、明治新政府発行の旅 券第一号をもってドイツに留学し、明治7 (1874) 年、ア ジア人として最初のベルリン大学医学部を卒業し、医学 博士になりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤 尚中と共に医師育成を続け、明治8 (1875)年10月に日 本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌(現在は欧文誌、 Juntendo Medical Journal:JMJとして)』を発刊し、近 代医学情報を日本全国に発信しました。第三代堂主と なった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院 長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要 の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、 順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医 院及び第二医院の初代院長、また大韓医院(現ソウル 大学医学部)を設立し、初代院長・医学部長をも兼任す るなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及の リーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂 醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂 医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部 (現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長 として併設し順天堂大学と致しました。順天堂の院長 を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代学長、次 いで理事長として、その発展を支えました。

第五代堂主 (理事長)・有山登は、大学・病院の施設 設備を拡充・整備させ、昭和34 (1959) 年、大学院医学 研究科・博士課程を開設し、昭和46 (1971) 年、大学院 体育学研究科・修士課程 (現在の大学院スポーツ健康 科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭 和42 (1967) 年、順天堂第2番目の医学部附属病院とし て「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院 (94床)(現 在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への更な



理事長 小川 秀興



学長 代田 浩之

る発展を進めました。

第六代堂主 (理事長)・東健彦は、昭和59 (1984) 年、 順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学 医学部附属浦安病院 (250床)」を開院しました。昭和 61 (1986) 年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周 年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館 (新1 号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂 高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、 本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主 (理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、 体育学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス (現 在の印西市) へ移転し、平成元 (1989)年、順天堂医療 短期大学を浦安キャンパスに開学しました。更に、財団 法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順 天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医 学部附属順天堂越谷病院 (221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993) 年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しまし た。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これ により順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実を図りました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29 (1896) 年、佐藤進は杉本かね [本邦初の看護取締 (総婦 長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理 事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属 高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療 短期大学 (3年制) へと組織体制の転換を進めつつ看 護教育を発展させてきました。

そして、第九代堂主(理事長)・小川秀興は、平成12 (2000)年、学長就任を機として、大学運営の抜本的 改革を果すべく、全職域横断的"学長室委員会(現大 学運営連絡協議会:運連協)"を設立し、"大学改革 20のプロジェクト"を掲げ、次々と斬新的改革を提案・ 説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長 就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況 に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改 め、現在も継続しております。その結果として、



- 1. 平成12 (2000) 年、大学院スポーツ健康科学研究 科・博士課程が開設されました。
- 2.平成16 (2004)年、医療短期大学 (3年制)を廃し、 順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部 (千葉県浦安市)が開設、拡充されました。
- 3. 平成14 (2002) 年6月、東京都江東高齢者医療セン ターが開院し、平成16 (2004) 年4月より東京都か ら順天堂に運営移管され、順天堂第5番目の医学部 附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」 となりました。
- 4.平成19 (2007) 年、大学院医療看護学研究科・修 士課程が開設され、平成26(2014)年には博士後期 課程が開設されました。
- 5.平成22 (2010) 年、第4の学部として保健看護学部 (静岡県三島市)が開設されました。
- 6.平成25 (2013)年には、海外からの留学生や国内の 医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修 士課程が開設されました。
- 7.練馬区における病院誘致計画を進め、多数の応募 医療機関の中から病院運営者として選定され、平 成17 (2005)年、順天堂第6番目の医学部附属病院 「練馬病院」が開院されました。
- 8.平成27 (2015) 年、第5の学部として国際教養学部 が開設され、国際総合大学・大学院大学としての基 盤を固めました。
- 9.平成31 (2019) 年、第6の学部となる保健医療学部 理学療法学科・診療放射線学科が開設されました。

- 10. 令和4 (2022) 年、千葉県浦安市日の出地区の校 地に「浦安・日の出キャンパス」が開設され、第7の 学部となる医療科学部臨床検査学科・臨床工学 科が開設されました。
- 令和5 (2023) 年、浦安・日の出キャンパスに第8の 学部として健康データサイエンス学部が開設され、 第4の大学院研究科として保健医療学部を基礎と して大学院保健医療学研究科が開設されました。
- 12. 令和6 (2024) 年、第9の学部として薬学部が開設 され、第5の大学院研究科として国際教養学研究 科が開設されました。
- 13. 令和7 (2025) 年、第6の大学院研究科として健康 データサイエンス学部を基礎として健康データサ イエンス研究科が開設されました。

順天堂は、附属6病院合計で総病床数3,589床を 有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成して います。国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門 性を発揮し、総合力に秀でた医育機関として発展する とともに、外国人患者の急増に対応して国際診療部を 設置するなど国際レベルでの病診・病病連携を強めて おります。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大 切にしながら、出身校、国籍、性別の差別のない"三無 主義"を学風として掲げ、9学部6研究科6附属病院か らなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・ 医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの 社会貢献と人材育成を進めております。





Messages 研究科長メッセージ

医学は人類の未来に 希望を与える 夢のある学問である



順天堂大学大学院 医学研究科長 高橋 和久

大学院医学研究科の役割、目的は2つあります。 一つは、優れた研究者を育成することです。大学院は 「研究の最前線」であり、論理的思考力、科学的な 視点や批評する力を養う重要な教育課程であり、研 究者を養成するための最適な環境です。研究するこ とで、解決すべき問題に対して、自ら考え、探求し判 断する力を醸成することができます。探求心を持っ て研究することによって、サイエンスの奥深さに触れ ると自分の知る生命科学や医学の世界が一気に広 がります。つまり、研究をすることで自らの可能性を 大きく伸ばし、そして研究力のみならず教育力そして 臨床力も向上することができます。

大学院のもう一つの役割、目的は、研究を通じて 臨床医学、基礎医学、医療やスポーツ医科学などさ まざまな分野で活躍できる高度なプロフェッショナ ル、専門家を養成し社会貢献することです。特に医学 の分野では、日々進歩する医学に常に向かい合う探 索的な視点をもつ医師、つまりPhysician Scientist を育成し、臨床現場から研究のシーズを発掘し、研 究成果を医療・医学へ還元することが大学院の極 めて重要な役割と考えています。

本医学研究科では、進路を大きく基礎医学者 コースと臨床医学者コースに分け、いずれのコース でも大学院入学者の希望に添ったキャリアパスを支 援するプログラムを整備しています。医学部出身者 だけでなく他学部出身者も、国籍を問わず広く迎え て、幅広い領域において優れた研究者、高度な専門 家を育成します。臨床医学者コースでは、博士(医 学)の学位取得と関連学会等の専門医資格(各領 域学会の条件による)の取得が可能です。

大学院の教育・研究の大部分は、79の研究分野 の研究室と19の研究推進センター、そして11の寄付 講座、37の共同研究講座、そして2つの産学協同研 究講座と3つの連携大学院コース(国立がん研究セ ンター、国立国際医療研究センター、国立病院機構 相模原病院)で行われます。これらの最新の設備を 整えた研究施設を十分に活用して欲しいと思いま す。さらに3,589床を有する6つの附属病院群では、 高度で安全な医療技術・態度を習得することが可 能であり、また臨床研究能力を涵養する場であると ともに、臨床的疑問(clinical question)を解決す るための新しい研究プロジェクトを提案できる場で もあります。この病院群が保有する豊富な臨床症例 を有効活用して、世界に新しい発見を発信してもら いたいと考えています。

新しい真実の発見を目指す研究者にも、高度なプ ロフェッショナルを目指す者にも「若い情熱とエネ ルギー」が不可欠です。本医学研究科はそのような 意欲ある大学院生を歓迎するとともに、活躍を期待 しています。

Medicine is a Field of Dreams that Brings Hope to the Future of Humanity

Kazuhisa Takahashi

Dean, Graduate School of Medicine

The Graduate School of Medicine has two core missions. The first is to foster outstanding researchers. Graduate school represents the front line of research—an essential educational environment that cultivates logical thinking, a scientific perspective, and critical evaluation skills. It offers the ideal setting for training the next generation of researchers. Engaging in research helps students develop the ability to independently think, explore, and make judgments about the challenges that need to be addressed. Through research driven by curiosity, students come into contact with the frontiers of science, allowing their understanding of life sciences and medicine to expand dramatically. In doing so, they can realize their full potential and enhance not only their research capabilities, but also their abilities in education and clinical practice.

The second mission of graduate school is to contribute to society by nurturing highly trained professionals and specialists who can excel in various fields—including clinical and basic medicine, healthcare, and sports medical science—through research. In the field of medicine in particular, graduate schools play an extremely important role in cultivating physician scientists: doctors who maintain an exploratory mindset, engage with the rapid advances in modern medicine, discover research seeds from clinical practice, and return research outcomes to the field of medical care.

At our Graduate School of Medicine, career paths are broadly divided into two tracks: the Basic Medical Scientist Course and the Clinical Medical Scientist Course. In both tracks, we provide tailored programs to support each student's desired career trajectory. We welcome not only graduates of medical schools but also those from other academic backgrounds and nationalities, offering training to become excellent researchers and highly specialized professionals across diverse fields. In the Clinical Medical Scientist Course, students can obtain a Doctor of Philosophy in Medicine and may also fulfill the requirements for board certification from relevant academic societies (depending on each society's criteria).

The majority of education and research in our graduate school is carried out in 79 research laboratories, 19 research promotion centers, 11 endowed chairs, 37 joint research departments, 2 industry-academia collaboration courses, and 3 cooperative graduate school programs (with the National Cancer Center, National Center for Global Health and Medicine, and National Hospital Organization Sagamihara Hospital). We encourage students to make full use of these state-of-the-art research facilities. Our six affiliated hospitals, with a total of 3,589 beds, provide opportunities to master advanced and safe medical techniques and practices. They also serve as training grounds to cultivate clinical research skills and to generate new research projects aimed at solving clinical questions. We hope that students will take advantage of the rich clinical resources these hospitals offer to share innovative findings with the world.

Whether you aspire to uncover new truths through scientific research or to become an advanced medical professional, a youthful passion and energy are essential. The Graduate School of Medicine warmly welcomes such driven individuals and looks forward to supporting your growth and achievements.

研究分野一覧 List of research fields

当研究科は、大きく3つの分野 (系) と連携大学院、そして寄付講座、共同研究講座、産学協同研究講座で構成されています。 The program is comprised of three major fields (courses), Affiliate Graduate Schools, Endowed Chairs and Joint Research Chairs, University-Industry Research Cooperation Departments.



寄付講座(11講座)
共同研究講座(37講座)
産学協同研究講座(2講座)



Course	Field of re	esearch
Humans and the Environment Course	 Virology Infection Control Science Molecular and Cellular Parasitology Department of Biochemistry and Systems Biomedicine Molecular and Cellular Biochemistory Immunology Molecular Pathogenesis Rheumatology Dermatology and Allergology General Medicine Clinical Pharmacology Medical History and Humanities Sports Medicine and Sportology Epidemiology and Environmental Health 	 Psychiatry and Behavioral Science Forensic Medicine Public Health Medical Education Hospital Administration Environmental and Gender-Specific Medicine Emergency and Disaster Medicine Clinical Translational Science Global Health Research Department of Personalized Kampo Medicine Healthcare Innovation Data Science Medical Interpreter Gut microbiome therapeutics science
Biological Function of the Human Body Course	 Cell Biology and Neuroscience Neurophysiology Ophthalmology Neurology Neurosurgery Anatomy and Life Structure Organ and Cell Physiology Human Pathology Cellular and Molecular Pharmacology Gastroenterology Cardiovascular Biology and Medicine Respiratory Medicine Metabolism & Endocrinology 	 Nephrology Obstetrics and Gynecology Hematology Pediatrics and Adolescent Medicine Anesthesiology Clinical Laboratory Medicine Aging Biology in Health and Disease Science of Allergy and Inflammation Neuroendovascular Therapy Department of Neuroanatomy Intracellular degradation system Neuron-Glia Biological Science
Regenerative and Reconstructive of the Human Body Course	 Gastroenterological Surgery Esophageal & Gastroenterological Surgery Coloproctological Surgery Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery Breast Oncology Cardiovascular Surgery General Thoracic Surgery Pediatric General and Urogenital Surgery Urology Cell therapy & Transfusion Medicine Pain Medicine Rehabilitation Medicine Otorhinolaryngology 	 Orthopedics and Motor Organ Plastic and Reconstructive Surgery Diagnostic Radiology Radiation Oncology and Medical Physics Clinical Oncology Palliative Medicine Genomic and Regenerative Medicine Diagnostics and Therapeutics of Intractable Diseases Clinical Genetics Regenerative Therapy Oral and Maxillofacial Surgery Transplantation and Regenerative Medicine Organoid-based Regenerative Medicine
Affiliate Graduate Schools	 Course of Advanced Clinical Research of Cance Course of Advanced and Specialized Medicine Course of Allergy and Clinical Immunology 	r
	Endowed Chair (11 cours	ses)
	Joint Research Chair (37 co	ourses)

University-Industry Research Cooperation Departments (2 courses)

▶ 修士課程・カリキュラム概略図

学位授与の流れ

1年次		2年次
入学/ オリエンテーション (春入学 4月) (秋入学 10月)	研究計画書作成 (3月) (9月)	中間審査 学位申請 学位審査 (9月) (12月)(1~2月) (3月) (6月)(7~8月)
基礎教育科目		
専門教育科目	研 究 計	
特論科目 ※公衆衛生学コースのみ		
研究指導科目		
1		

令和7年度入学者入試区分 外国在住	令和7年度入学者出身 專門·	令和6年度修了率 未修了者	令和7年度 外国人学生	
留学生 4% 一般 29%	短期大学等 7% 大学 ^(理系) 大学 ^(理系)	3%	1年生	55
39% 社会人	31% 大学(文系)	修了者	2年生	35
27%	27%	97%	計	90

高度専門職業人

医学分野以外の教育を受けられた方のうち、すでに医学・医療分野で活躍する社会人の方には、専門職者としてリーダー シップを発揮できる医療人として、また、専門性を更に高め、研究者の立場に立って助言できるリサーチアドミニストレー ターとして養成します。医学医療の基礎を学んだ経験が無い方にも、基礎医学および基礎臨床医学分野の総合的基礎医学 知識を学ぶ機会を提供し、将来、医療関連分野の現場で活躍できるリーダーとして育成します。

●博士課程への進学

研究指導科目において関心のあるテーマを研究指導担当教員と探究し、得られた専門知識を医科学研究の発展のため 継続的に活かすことのできる学際的な人材を養成します。博士課程への進学を目指す方は、修士課程修了後、本学大学院医 学研究科博士課程へ進学し、将来、大学の研究員・技術員、官公庁、企業、病院等医療分野への就職も期待されます。

■修士課程修了後に博士課程への進学を検討されている方へ

順天堂大学内で定期語学試験を年間4回実施しており、試験に合格すると、博士課程入学試験の語学試験が免除される制度があります。定期語学 試験は修士課程在学中に受験できます。



本研究科修士課程は2つのコース、8つの学位プログラムから選択可能です。選択コースによって取得できる学位も異なりますので、 ご確認のうえ各コース・プログラムをご選択ください。

コース	学位プログラム	取得学位
医科学コース	<text><text><section-header><text><section-header><text><text></text></text></section-header></text></section-header></text></text>	修士 (医科学)
公衆衛生学コース	<text><section-header><text><text><list-item><list-item><list-item><section-header><section-header><section-header><text></text></section-header></section-header></section-header></list-item></list-item></list-item></text></text></section-header></text>	修士 (公衆衛生学)

11

MS Program curriculum diagram

Conferment of degree timeframe



Advanced professionals

General

29%

Working _

adults

27%

39%

Among those who have an education in a field other than medicine, working adults already playing active roles in medicine and medical service are developed as medical practitioners who can exert leadership as a professional or a research administrator and who can give advice from the viewpoint of researchers by further enhancing their expertise. We offer opportunities to learn a comprehensive basic medical knowledge in the fields of basic medicine and basic clinical medicine and develop them into leaders who can actively work on medical service-related sites.

35%

University

(Humanities) 27%

20

60

2nd year

Total

Graduates

97%

Advancing to Doctoral (PhD) Program in Medicine

(Overseas)

31%

We develop interdisciplinary human resources who can pursue a theme they have an interest in among Special Graduate Studies and continually take advantage of acquired expertise for the development of research in medical science. Those who target advancing to a doctoral course are expected to join the Doctoral Program in Medical Science of Juntendo University after completing the Master of Science Program and find jobs as researchers or engineers at universities or public offices, companies, hospitals and other fields of medical service.

For those considering the possibility of entering the Doctoral Program after completing the Master of Science Program At Juntendo University, we have a system in place where regular language tests are held four times a year, and if the test is passed, you will be excused from the language test of the Doctoral Program. A regular language test can be taken while studying for the Master of Science Program.



The Masters' Program can be selected from 2 courses with a total of 8 programs. Degrees that can be obtained differ according to the course that you select, so please check the details of each course before you apply.

Course	Degree program	Degrees
Medical Science Course	<section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><section-header><text></text></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header></section-header>	Master of Science (Medicine)
Publice Health Course	<text><section-header><text><text><list-item><list-item><list-item><list-item><section-header><section-header><text><text><text></text></text></text></section-header></section-header></list-item></list-item></list-item></list-item></text></text></section-header></text>	Master of Public Health





※上記掲載のカリキュラムは春入学者向けのものとなります。英語開講での秋入学者向けは別カリキュラムとなりますのでお問い合わせください。



略図

	了式	学位授与
	修了	修了要件 30単位
欠		4年次到達目標に基づく成績評価(自己評価/教員による評価)
4年》		研究進捗状況評価(11月申請締め切り) 学位審査 [最終試験](12月~2月頃)
4		学位論文の作成・投稿
₹次		3年次到達目標に基づく成績評価(自己評価/教員による評価)
34		研究進捗状況評価(3月) 「ポスターセッション」による中間評価
		2年次到達目標に基づく成績評価(自己評価/教員による評価)
		研究進捗状況評価(3月)(「研究進捗状況報告書」の作成・提出

博士課程カリキュラムの授業構成は、「コアプログラム」と 「専門プログラム」に分かれています。

コアプログラム

1 -1 基礎教育 (Unit1) ベーシックコース [1年次 必修]

大学院における初期教育として、医療倫理、微生物学、再生医学、遺伝医 学、臨床薬理学、形態学的手法、統計学的手法、動物実験やRI・放射線の基 礎、医療情報システム、リスクマネージメント、医事法制学といった研究手法 の原理・科学的思考法などの基礎知識を学習します。

1 -2 基礎教育(Unit1) リサーチサポートコース [1年次 必修]

共同利用研究施設である研究基盤センターの各研究室より、研究施設の概要、設置機器等の説明及び利用上の注意等の講義を行い、今後、研究 基盤センターの研究施設を有効に利用し、研究を発展させていく場となる ことを目標とします。

1 -3 基礎教育 (Unit1) アドバンスドコース [2年次 必修]

学位論文を作成するための基礎的な教育として、研究計画の立て方、論 文の作成方法、研究行動規範、効果的なプレゼンテーション方法、知的財産 管理など論理的思考、課題解決法、表現力の基本を学習します。

2 実践教育 (Unit2) [1年次 選択必修]

13のコースワークがあり、それぞれ基礎医学系と臨床医学系双方が連携 して講義・演習・実習を組み合わせた統合化した授業内容となっています。 1年次に1つのコースを大学院生のキャリアパスに応じて選択できます。希 望によっては、2年次以降に追加で選択することも可能です。

3 レクチャーシリーズ (Unit3) [1~3年次 選択必修 /4年次 選択]

大学院特別講義、医学特論、Current Topics等で構成され、夜間開講の 科目が多く、1年次から4年次にまたがって履修できます。この科目群は、関 連領域の研究を幅広く学習すると共に、大学院生としての豊かな教養の涵 養と国際的通用性を身につけることが学習目標です。英語集中プログラム、 英語による講義シリーズも用意されています。Current Topicsは、特別に 各講座・研究室、寄付講座等において国内外から研究者を招聘したときに 開催される講演会等で構成されます。

専門プログラム

4 専門教育 (Unit4) [1~4年次 必修]

主専攻とする主科目コース、主専攻を補完する科目の副科目コースから なり、高度な知識、技術を身につけ、自らの専門性を高めるための授業です。 研究者養成コース(基礎系・臨床系)、高度臨床専門家養成コース(臨床研 究)を置き、各コースはコースワークと専門研究で構成され、キャリアパスに 応じ、コース間の乗り入れを可能としています。

5 専門研究 (Unit5) [1~4年次 必修]

論文基礎・応用演習となっており、「論文作成指導」と「3年次ポスター セッション(研究発表)」から構成されます。3年次後半に実施する3年次ポ スターセッションでは、学位論文に関する中間発表を行い、評価委員による 評価と助言を受け、研究の進捗状況が確認できます。

Doctoral Program education subjects



Core Program

^{*}The curriculum shown above is designed for students admitted in the spring. A different curriculum is offered for those entering in the fall through the English-medium program. For further information, please contact us.



curriculum overview



Specialized Program

Each curriculum is described in detail from the next page.

Doctoral Program education subjects

Core Program

1 -1 Basic Education Basic Course

[Compulsory for 1st Year]

As initial education at Graduate School, students learn the basics of medical ethics, microbiology, regenerative therapy, clinical pharmacokinetics, morphological methods, statistical methods, animal experiments, RI and radiology, in addition to basic knowledge, including principles and scientific ways of thinking such as medical information systems, risk management and medical jurisprudence.

1 -2 Basic Education Research Support Course

[Compulsory for 1st Year]

Each laboratory of the Biomedical Research Center, which is a jointly used research facility, give a lecture on an overview of facilities, explanations of installed equipment, etc., and remarks on use, with the purpose of having research facilities of the center effectively used, in addition to developing your research.

1 -3 Basic Education Advanced Course (Unit1)

[Compulsory for 2nd Year]

As basic education for preparing dissertations, students learn how to make a research proposal, how to prepare a dissertation, code of research conduct, effective presentation methods, logical ways of thinking such as intellectual property management, how to solve challenges and basic expressions.

2 Practical Education

[Selected requirements for 1st Year]

13 courses of work are available, and each one has content integrating lectures, exercises and training through collaboration between basic medicine and clinical medicine courses. Depending on each graduate school student's career path, one course can be selected in the 1st Year. If so desired, students can choose additional courses in the 2nd Year and beyond.

3 Lecture Series

(Unit3) [Compulsory for 1st, 2nd, and 3rd Year and selective for 4th Year]

This series is comprised of special lectures at graduate school, Advanced Medical Science, current topics, etc., and many of which are available at night, enabling students to take them from the 1st till the 4th year. This group of subjects has a learning target that while learning about research in relevant domains from a broad perspective, the students will develop a rich culture and an international mindset. Intensive English programs and lectures in English are also available. An example of current topics is lectures that take place when Japanese or overseas researchers are invited to participate in individual courses, labs or Endowed Chairs.

curriculum overview

Specialized Program

Specialized Education

[Compulsory for 1st, 2nd, 3rd and 4th Year]

This course is comprised of major subject courses as main area of studies and minor subject courses to supplement majors. The classes are held to master advanced knowledge and skills and enhance expertise. Course for Researchers (Basic and clinical), Course for Advanced Clinical Specialists (Clinical studies), are available. Each of these courses is comprised of course work and specialized research and courses are interchangeable, depending on individual career paths.

Specialized Research□

(Unit5)

[Compulsory for 1st, 2nd, 3rd and 4th Year]

This course is for basic and applied training of dissertation preparation, constituted by "Instructions on Dissertation Preparation" and "Poster Session in the 3rd Year (Research presentation)." At the Poster Session that is conducted during the 2nd half of the 3rd Year, students will give interim presentations on their dissertations, receive evaluation and advice from evaluation committee members in order to confirm their progress with research.







Transition in the number of graduates with Doctor of Philosophy (Medicine) conferred

甲種学位授与数累計: 3,045号 Total number of doctorate degrees conferred:3,045



早期修了制度(3年修了)

Early Graduation System (Completion in 3 years)

博士課程の標準修業年限は4年間ですが、顕著な新規性や創造性を有する極めて優れた研究実績を挙げ、学術界 における影響や発展性および将来性を有することが確認できた場合には、3年次に学位審査試験を受験し大学院 を修了できる制度があります。

The standard duration of the doctoral program is 4 years, but there is a system that allows students who have achieved exceptionally outstanding research with remarkable originality and creativity, and whose work is recognized as having influence, potential for development, and promise for the future in the academic community, to take the doctoral dissertation defense in their third year and complete graduate school.



学位論文 博士(医学)

Dissertations: Doctor of Philosophy (Medicine)

令和3~6年度 (R7.3月8	寺点)	2021-20	24(As of 20	25)	
学位授与数	英文論 English disser			IF**1	
Number of degrees conferred	論文数 Number of dissertations	%	平均 ^{**2} Average Number of dissertations with an IF 5 or more		%
626	621	99.2%	4.35	73	11.7%

●取得率は約95%、論文の9割以上が英語論文

※1 IF: インパクト・ファクター; トムソン・ロイターの引用文献データベースに収録されるデータを元に算出された学術雑誌の影響度、引用された頻度を測る指標 ※2 学位論文掲載受理を受けたIFのあるジャーナルでの平均値

Conferred ratio is about 95%, with more than 90% of dissertations in English

- %1 IF: Impact Factor: An index to indicate the influence of an academic journal and frequency of quotations calculated on the basis of data registered in the Thomson-Reuter's quoted document database.
- %2 Average of papers accepted for publication in journals with IF

●大学院修了者の学位論文情報を公開しています。

•All graduates school graduates' dissertation information is disclosed.

Juntendo Academic Inform	ation Repository		
天堂大学学術情報リボジトリは、順天堂大学において生 ボジトリに登録されているコンテンツの著作権は、著者 ンテンツの利用については、著作権法に規定されている			ご案内 - 【登録方法はこちら】順天皇 大学学術情報リポジトリにつ いて
レテンツ			
トップ ランキング			お知らせ
	入力後、Enterキーを押下し検索してください Q 検索 > 詳細検索		 「順天堂大学学術情報リボジ トリ」は新システム(JAIRO Cloud)に移行しました。 (2024.6.10)
	● 全文 ○ キーワード		1202410.107
インデックスツリー	Index List		115-167
▶ 学位論文	<i>律平</i> 位論文	2340 items	リンク ・ 頑天堂大学
 ▶ 学術雑誌論文 ▼ 学内刊行物 	●学術雑誌論文	6 items	 ・ ・ ・
▶ 順天堂醫事雑誌	@学内刊行物	658 items	 ・
 順天堂スポーツ健康科学研究 順天堂大学スポーツ健康科学研究 			
			お問い合わせ先
			本郷・お茶の水キャンパス 学術メディアセンター リポジトリ担当

Juntendo Academic Information Repository



令和6年度外国籍学生数

Number of student from overseas for SY2024

1年生	2年生	3年生	4年生	計
1st year	2nd year	3rd year	4th year	Total
50	40	25	13	128

▶ 研究センターの利用

大学院生が研究に利用することができる最新の機器を備えた16の研究センターがあります。

主な研究センター

・研究基盤センター

高度に精密な機器分析を行う共同利用研究施設で、登録をすれば誰でも個人として 利用できます。専属のスタッフが常駐し、タンパク発現解析、分子生物学的解析、免疫 組織染色など、すべてを行うことができる施設で、常時稼働しています。



・疾患モデル研究センター

動物愛護法及びその他の関連法規に従った順天堂大学動物実験等管理規則に基づき、医学研究及び医学教育のための 動物実験が行われています。基礎研究及び臨床研究の成果に基づいた、本学の高度医療を支えています。

・ゲノム・再生医療センター

ES細胞、iPS細胞、体性幹細胞等の「幹細胞」を利用し、失われた臓器や組織、さらにはその機能を修復・再生しようとする 再生医療の研究推進を図ります。

・難病の診断と治療研究センター

ゲノム医療、再生医療を通じて医療・医学の進歩に貢献する施設として平成28年7月に開設しました。臨床検体の解析を通じて得られた遺伝子情報を用い、難病の発生機序、診断、治療開発などの教育・橋渡し研究や、複数の細胞調整室の設置により同時に複数のプロジェクトの推進が可能です。

▶ 秋入学制度

2つの学位プログラム (International Medical Science / Global Health) では、10月入学 (秋入学)の外国人留 学生向けカリキュラムを用意しています。英語による講義や演習等により、英語のみで修了単位を修得できるカリキュ ラム構成となっています。受験資格の確認などは下記までお問合せください。

教務課 (医学研究科 担当): gsm_nyushi@juntendo.ac.jp

▶ 連携大学院制度

連携大学院協定を締結している機関の職員は、社会人大学院生として、各機関に籍を置きながら、順天堂大学大学院 医学研究科博士課程の授業科目(大学院の専門プログラム)の単位を修得可能とし、各機関で行った研究の成果を もって学位の取得が可能です。

・国立研究開発法人国立がん研究センター「最先端がん臨床研究コース」

・国立研究開発法人 国立健康危機管理研究機構 「高度専門医療研究コース」

・独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 「アレルギー・臨床免疫研究コース」

.....



費目		初年度	2年次以降	備考
入学金		200,000円	-	入学時のみ
学費	授業料	425,000円*	425,000円 [※]	
	施設設備費	150,000円	150,000円	
委託経費 同窓会費(終身会費)		100,000円		博士課程のみ
	小計	875,000円	575,000円	

※修士課程医科学コースデータサイエンス学位プログラムのみ、授業料は1,075,000円となります。



Use of Research Centers

We have 16 research centers that are equipped cutting-edge equipment that graduate school students can make full use of in their research.

Main Research Centers

· Research Support Center

This is a research facility for shared use to conduct high precision analysis with equipment and by making a registration, any graduate school student can use it as individuals. With dedicated resident staff members and open around the clock, the facility meets all needs for analysis, including protein expression analysis, molecular biological analysis and immunohistostaining.

· Center for Biomedical Research Resources

Based on Juntendo University Animal Experiment Control Rules that are fully compliant with the Act on Welfare and Management of Animals and other relevant laws and regulations, all experiments on animals are conducted for medical research and education purposes only. Such experiments support our advanced medicine, based on the results of basic and clinical research.

· Center for Genomic and Regenerative Medicine

Taking advantage of ES cells, iPS cells, somatic stem cells and other stem sells, we strive to promote the research of regenerative medicine to repair and regenerate lost organs or tissues and in addition, their particular functions.

· Intractable Disease Research Center

The Intractable Disease Research Center was established in July 2016 as a facility to contribute to the development of medical services and medicine through genomic and regenerative medicine. Using gene information acquired through an analysis of clinical specimens, the center can offer educational and translational research on developmental mechanisms of intractable diseases, diagnosis, treatment developments, etc., in addition to the simultaneous promotion of multiple projects by establishing multiple cell processing centers.

Autumn Enrollment System

In the Two master's programs (International Medical Science / Global Health) and the doctoral program, a curriculum designed for foreign exchange students enrolling in October (Autumn Enrollment System) is available. The program consists of lectures, exercises, and other activities conducted entirely in English, allowing students to earn their degrees solely in English. For inquiries regarding eligibility for the program,

please contact the Educational Affair Department (Graduate School) at gsm_nyushi@juntendo.ac.jp.

Affiliate Graduate School System

Staff of institutions that have an affiliate graduate school agreement with our university can acquire credits of class subjects (Graduate School's specialized programs) of the Doctoral Program in Medicine at Juntendo University, while belonging to their institutions and can acquire a degree based on research conducted by individual institutions.

· Course of Advanced Clinical Research of Cancer (National Cancer Center Japan)

· Course of Advanced and Specialized Medicine (Japan Institute for Health Security)

· Course of Allergy and Clinical Immunology (Sagamihara National Hospital)

.....

Tuition & Fees

Categories		First year	Second year and beyond	Note
	Admission fee	200,000	_	Only at admission
School fees	Tuition	425,000 [*]	425,000 [*]	
	Facilities & equipment fees	150,000	150,000	
Outsourcing expenses Alumni association fee (lifetime membership)		100,000		Only for the Doctoral program
Total		875,000	575,000	

*Tuition for Data Science Course of Medical Science -Data Science Program- master's program is 1,075,000.







Juntendo University Shizuoka Hospital



Juntendo University Urayasu Hospital







浦安・日の出キャンパス [医療科学部/健康データサイエンス学部/

薬学部/健康データサイエンス研究科]

Urayasu Hinode Campus

(Faculty of Medical Science/ Faculty of Health Data Science/ Faculty of Pharmacy/ Graduate School of Health Data Science)



(Faculty of Health Sciences and Nursing/Graduate School of Health Care and Nursing)



順天堂越谷病院

Juntendo University Koshigaya Hospital



Juntendo Tokyo Koto Geriatric Medical Center



Juntendo University Nerima Hospital



アクセスマップ Access Map







〒 113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1 Tel.03-3813-3111 (代表) https://www.juntendo.ac.jp